

【平成17年秋開業予定】

見えてきた!

特集
I

つくばエクスプレスが
走るまち

平成15年3月、いよいよ新車両がやってきました。
この銀色に輝く電車が、いばらきに新しい風を運んで走ります。
あと2年半、開業に向けて形の見えてきた「つくばエクスプレス
プロジェクト」を紹介します。





【平成17年秋開業予定】

見えてきた!

つくばエクスプレスが走るまち

特集
I



総合基地の検車庫

平成十七年秋の開業を目指して、現在、レールの敷設、駅舎の建築、電気設備工事が各地で着々と進められています。

また、山口県と兵庫県の車両工場で作製されたつくばエクスプレス最初の車両が、平成十五年三月、守谷市と谷和原村にまたがる総合基地に搬入され、いよいよこの四月からは、第一期走行試験が始まりました。モーターやブレーキのテストなど、車両の基本性能の確認を行っています。

そして、つくばエクスプレスを運営する鉄道会社では、平成十六年四月採用の乗務要員、技術要員の募集も始まっています。

今後も、皆さんのご期待に応えるよう、関係者との連携のもとに全力で取り組んでいきます。

TX 順調に進むプロジェクト 鉄道の開業に向け、万全の準備を展開中

●つくばエクスプレスプロジェクトとは?

本県が世界に誇る科学技術都市「つくば」と東京の秋葉原を四十五分で結ぶ新しい鉄道「つくばエクスプレス」。

一都三県・官民一体によるこの鉄道の整備によって、新たな生活都市空間を創造し、沿線地域の活性化を図る計画。それが「つくばエクスプレスプロジェクト」です。

TX いばらきの未来を開け! つくばエクスプレスプロジェクト

本プロジェクトは、これらの基本コンセプトを柱に進められ、いばらきの「新しいゆたかさ」と「かがやける未来」への扉を開きます。

- 【四つの基本コンセプト】
- ① 東京圏北東部地域の交通体系の整備
 - ② J R 常磐線等既設鉄道の混雑緩和
 - ③ 首都圏における宅地供給の促進
 - ④ 沿線地域における産業基盤の整備と業務核都市の形成

●車両走行試験(第1期)が始まりました!

期間: 4月21日~7月中旬

区間: 総合基地および本線の一部(北園高架橋~小貝川橋梁)1.5km



●モダンな表情の「守谷駅」

いばらきへの玄関口「守谷駅」
関東鉄道常総線とアクセスします



※駅名はすべて仮称です。



常磐自動車道の下を通るトンネル入口



●「島名駅」付近の高架橋

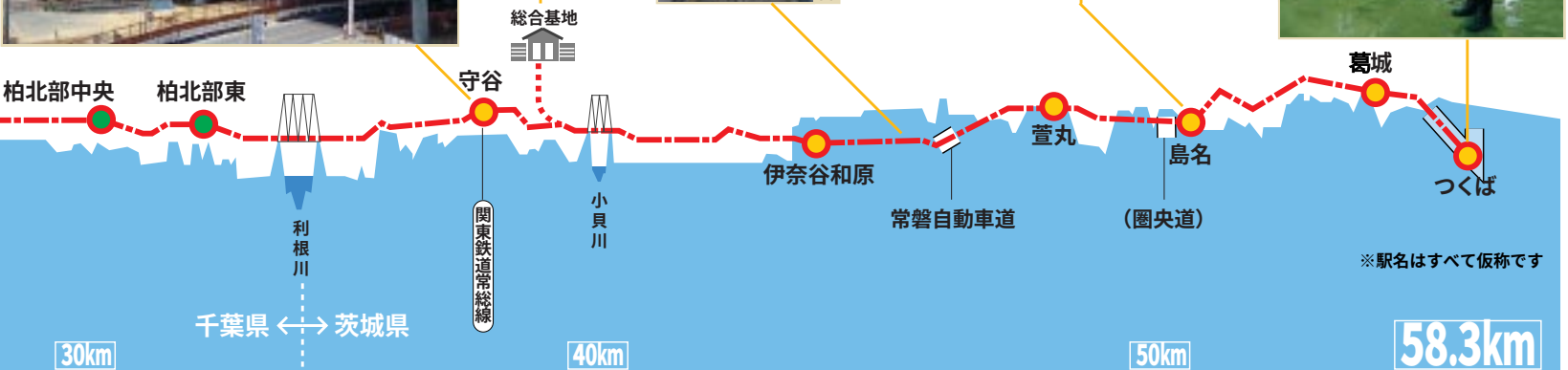
この辺りは、筑波山の眺望が抜群です

●駅の姿が見える「つくば駅」

地下駅となるつくば駅は、ホームや電車の進入路がはっきり見て取れます



※駅名はすべて仮称です



先進技術は、車内にも ～人にやさしく、快適です～

- 車内案内表示器
【電光文字式】

次は 秋葉原

- 優先席

マークをシートに直接プリント

ワイドなボディーで広々空間

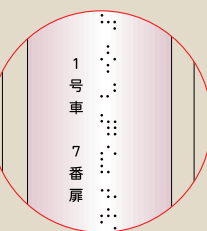


乗降時の安全、滑り止め加工

- 車内案内表示器
【マップ式】



- 車内点字案内標



バリアフリー設計

車椅子使用のお客様に配慮して、1編成につき2カ所の車椅子スペースを設置。手すりや固定用ベルトのほか、異常時に乗務員などに連絡できる通話式の非常通報器も備えています。また、駅ホームとの段差が小さく乗降もスムーズです。



ゆとりのシート

TX-1000系は、すべてロングシート、TX-2000系は、中間の2両に足下すきりのセミクロスシートを設けた構成となっています。どのシートも一人占有幅が広く、快適な座り心地です。



TX
先進技術を凝縮した車両
安全と安心をお届けします

つくばエクスプレスの車両は、安全性や乗り心地はもちろん、環境やバリアフリーへの対応など、さまざまな視点から最先端の技術を結集して製作されました。



黒を基調とした制服



●車両の素材は、軽量化と環境・循環利社会に対応
環境社会に配慮してリサイクルが容易なアルミニウム合金などを使用。同時に軽量化と省エネルギー化を図っています。

●ATO(自動列車運転装置)によるワンマン運転
乗務員の発車操作以外は、駅停止まで自動で運転します。また、車両のドアと駅のホーム柵は安全な連動開閉です。



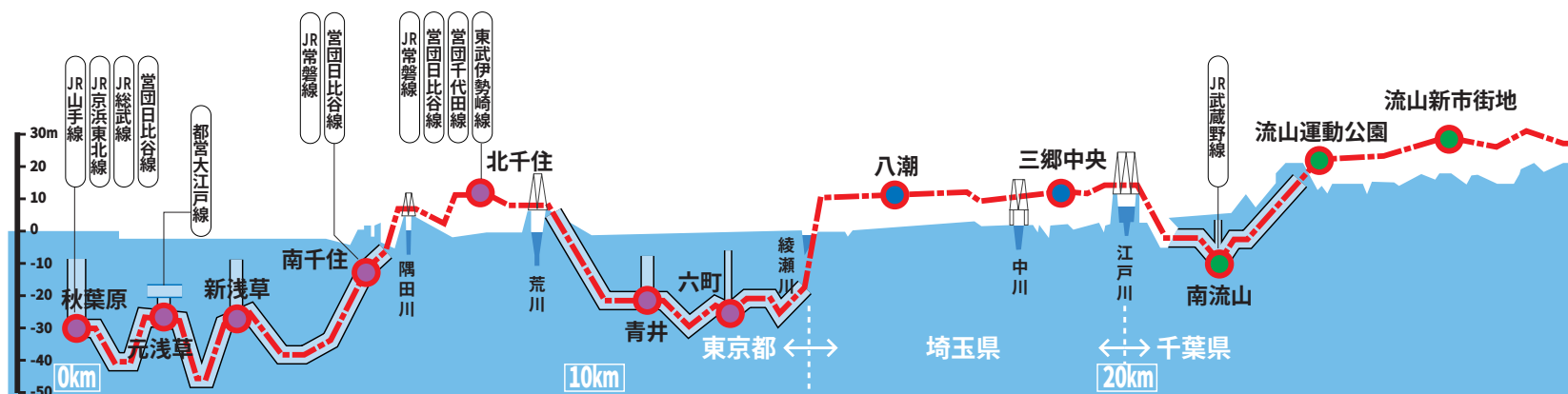
首都圏の通勤電車では最も速いくばエクスプレスそのため、高速安定性や急曲線・急勾配に強い設計になっています。

●最高運転速度は
時速百三十キロ

秋葉原
Akihabara
45分
Tsukuba
つくば

■車両は、2タイプ

【TX-1000系】
直流区間(秋葉原～守谷)を走行します
【TX-2000系】
直流/交流区間(全区間)を走行します
・直流と交流の切り替え時にも消灯しません





【平成17年秋開業予定】

見えてきた!

つくばエクスプレスが走るまち

特集
I



伊奈谷和原駅



つくば駅

TX

それぞれの「夢」の実現に向けて
沿線に生まれる新しいまち

「夢」の実現に向けたまちづくり
沿線のまちづくりは、この地域の持つ国際性、先進性、先端の科学技術や情報、ゆとりある環境など、二十一世紀の地域社会形成の鍵となる要素を取り込んで進めていきます。また、若い世代から高齢者までさまざまな人々の新しい暮らし方や働き方、そして生き方を実現できるよ

・「いちさと」は、『いち(一)、市さと(里)郷』として、まとまり、交流、賑わいを示しています。
・「いちさと」は、一里塚として未来の生活への里程標(マイルストーン)を示しています。
・「みらい平」により、広大な関東平野にみらいへと連なるまちが生まれることを表現しています。
・「平」は、平成のイメージ(おだやかな落ち着き)と平和のイメージを表現しています。

●二十一世紀の
新しい生活都市空間
愛称は「みらい平・いちさと」

●鉄道整備と沿線のまちづくりを一体的に進めています
つくばエクスプレスプロジェクトは、鉄道整備と沿線のまちづくりを一体的に進めることに最大の特徴があります。新駅を中心に道路や公園などの公共施設を計画的に整備し、美しく快適な居住・職場環境の創造を目指します。
現在、平成十七年秋の鉄道開業に合わせてまちびらきを目指して順調に事業を進めています。

沿線のまちづくりの情報やご意見・アイデアはこちらまで

<http://www.tsukubaexpress-ibaraki.jp>

※新品種バラ「つくばエクスプレス」



【問い合わせ先】

●つくばエクスプレスに関すること

県新線・つくば調整課

☎ 029(301)2686 FAX 2689

●沿線のまちづくりに関すること

県新線沿線整備課

☎ 029(301)2798 FAX 2699

うな、特色ある地域づくりを目指すとともに、そこに住み、働く人それぞれの「夢」を実現できるよう、広く皆さんのご意見やアイデアを取り入れてまいります。

